第 1 学年　「 ともに　つくり　響き合う学年 」

だ　よ　り

2023 年 9 月 19 日 発行 第 29 号

文京区立第九中学校　第１学年
本駒込 3-28-9　TEL03-3821-7178

八ヶ岳移動教室に行ってきました！

9 月 13 日から 15 日の日程で、交流学級 3 クラスで、八ヶ岳移動教室に行ってきました。3 日間で大きな怪我や事故などなく、無事に帰って来られたことが何よりです。この先は、中間考査が控えていますので、体調を整えましょう。

さて、実行委員会による**スローガン「T・助け合い　K・協力/切り替え　G・グループ活動　～　一生の思い出になるように　～」は、それぞれがどのくらい達成できたでしょうか。これから作文や事後学習を通して、一人一人の達成度を形にしていき、次の行事や学校生活へと生かしていきましょう！**

9 月 13 日（水）第 1 日目

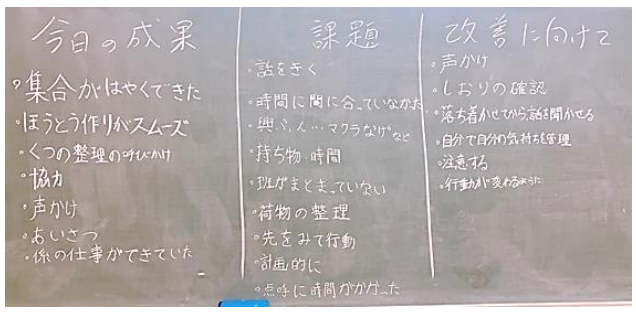
まぶしい朝日に照らされての出発式となりました。重い荷物をバスに乗せ、一般道から高速道路で山梨県へ。途中、高速道路で事故があり、一般道で迂回（うかい：別の道で行くこと）しました。逆に、山梨県名産のぶどうや桃の畑を間近に見ることができました。

11 時前に高根クラインガルテンに到着し、ほうとうづくりを体験しました。班ごとに野菜の皮をむき、切り、ほうとうをこねて、切って、クラスごとの鍋でグツグツ煮込みました。味噌きゅうりもいただきました。至る所で「TKG」の姿が見られました。暑い中で食べるほうとうは、格別なおいしさだったようで、おかわりも大行列でした。食後はクラスごとに集合写真を撮り、一路、宿舎へ。14 時過ぎ、文京区立八ヶ岳高原学園に到着。開園式後、室長による部屋チェックを終え、男女別、クラスごとに入室し、今後の予定を確認しました。　午後の学習である木工作では、

学園の方の指導により、木々や木の実を使い、思い思いに工作をしました。木目を生かした平面作品や、木片や木の実を

積み上げていく立体作品など、青学年の個性が発揮された作品となりました。作品は、10 月下旬の学習発表会展示部門の 1 学年スペースで展示します。

入浴、夕食を終え、夜のレクリエーションは、館内きもだめしです。体育館でホラー映画を見て、極限まで緊張感を高め、真っ暗になった館内を班ごとにお札を探して歩きます。レク係の巧妙なおどかしに、腰を抜かす人が続出しました。悲鳴を上げながらクシャクシャになった地図とお札を握りしめ、体育館に戻ってくる班が多かったのでした……。



9 月 14 日（木）第 2 日目

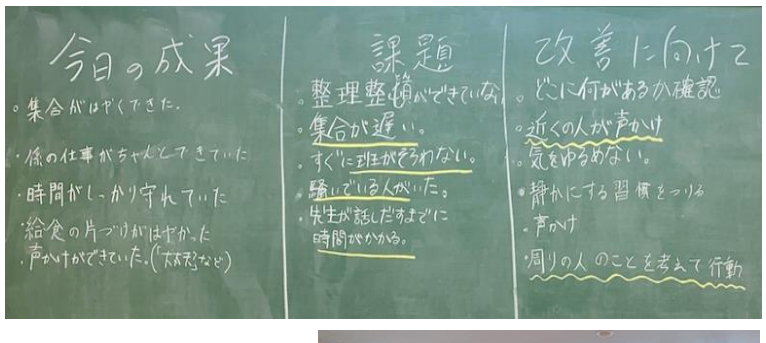
雲の間に青空が広がり、八ヶ岳が見える朝となりました。ラジオ体操の後に朝礼をし、クラスごとに学園と八ヶ岳を背に集合写真を撮りました。朝食を済ませ、今回の移動教室のメインイベント、登山に向かいました。文京区の中学校でも 2 校しかこの登山は実施していない、難関です。登山ガイドさんが各クラスに同行し、山あり谷ありのコースを互いに励まし合いながら一歩一歩進んで行きました。強風のため、男子は山頂で昼食を食べられませんでしたが、急な山の天気の変化を目の当たりにすることができました。山頂からの景色は、何物にも変え難い思い出となったようで、野生に帰り、叫びまくる人が続出しました……。急な登りと下りを繰り返し、激しい急な下りを経て、ロープウェイに到着した時には、ほとんどの生徒がヘトヘトになっていました。この日は、みんなの「あと何分ですか？」の質問に、先生や登山ガイドさんたちが「あとちょっと！」と答える「あとちょっと詐欺」が流行！！　時間の読めない登山に、気が滅入りそうになった青学年ですが、時折、垣間見える美しい景色と、

急な石だらけの下り坂に一喜一憂していました。

麦草峠を抜けて茶臼岳へ、そして縞枯山から坪庭へと２つの山を制覇し、最後は、北八ヶ岳ロープーウェイの坪庭駅から２・３組と１組が分かれて下山し、学園へバスで戻りました。ロープーウェイからの絶景に、どのクラスも感動の声が漏れ出ていました。

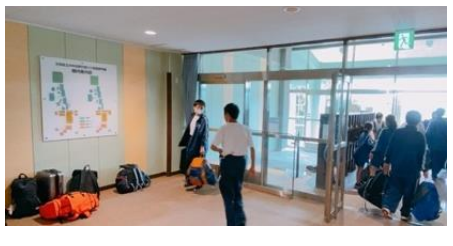
登山ガイドさんに説明していただいた「縞枯（しまが）れ現象」については、その原理や詳細について、事後学習で調べてみましょう！

登山後の汗を入浴で流し、夕食のカレーをモリモリと平らげ、２日目の夜のレクリエーションは、キャンプファイヤーと花火でした。キャンプファイヤーでは、副校長先生が火の神となり、レク係の５名が火の子になり、点火式が行われ、火を囲んで九中校歌の１番をみんなで熱唱しました。レク係が仕分けした手持ち花火が配られ、クラスごとに火が回り、花火を楽しみました。そして、打ち上げ花火があり、最後にはナイアガラの花火で大団円（だいだんえん：すべてがめでたく終わること）を迎えました。



９月１５日（金）第３日目

秋の寒さを感じる曇り空の下、最終日の朝を迎えました。ラジオ体操、朝礼後は、学園での最後の朝食を済ませ、荷物をバスに乗せ、部屋や廊下などを分担して掃除しました。



最終日は班ごとにウォークラリーです。地図を頼りに、八ヶ岳の高原を歩きます。途中のチェックポイントでは、先生ごとに問題が出され、正答によってペナルティーもありました。何班かコースから外れてしまうトラブルがありましたが、最後は無事に全員が戻り、学園前で閉園式を行い、滝沢牧場へと向かいました。

滝沢牧場では、班ごとにアイスクリームづくりをしました。材料を必死に混ぜる「TKG」の姿が印象的でした。完成したアイスは、班ごとに硬さが違うようでしたが、自分たちでつくったアイスは格別な味だったようです。滝沢牧場の計らいで昼食のお弁当をその場で食べ、東京へと向かいました。連休前の金曜日ということで、高速道路や一般道で渋滞にはまり、解散が日暮れ後になってしまいましたが、3 日間の移動教室を終え、充実した顔で帰路に着く様子でした。荷物の引き渡しのために、富士神社の境内をお借りました。

「TKG」を掲げての 3 日間の移動教室を通して、たくさん成長した面が見られた一方で、学年としての課題もみつかりました。この行事を通して学んだこと、考えたこと、体験したことを振り返り、今週からの学校生活に生かしていきましょう。13・14 日の班長会で出た成果と課題は、日頃の学校生活の中でも当てはまることがほとんどです。**よりよい学年になっていくためには、これらの課題を乗り越え、一人一人が班、クラス、学年をどうやってつくっていくかを考えることが大事です。そのために、「K 切り替え」を意識し、考えたことを行動に移していくことが何よりも大切です。**次の大きな行事は、九中の 2 大行事の一つである学習発表会です。クラスで取り組む合唱コンクールに向け、新たな絆が深まることを、先生たちは願っています。

最後に、この 3 日間、班、クラス、学年の中心として八ヶ岳移動教室を支えてくれた実行委員のみなさんや係長さん、おつかれさまでした。そして、今回、寝食を共にした一人一人がいろいろな場面で光る瞬間や感動の笑顔がありました。**一つの行事を学年として乗り越え、育まれた「絆」を大切に、1 年生の後半戦を、みんなで乗り越えていきましょう！！**